

ひしのみ

【学校目標】 たくましく かしこく とともに生きる

令和元年度第2学期 終業 ありがとうございました

12月24日(火)、令和元年度第2学期終業式を迎えます。

2学期は体育大会や修学旅行、なかよし集会、バザーなど大きな行事が目白押しでしたが、保護者の皆様のご協力のおかげで無事に終わることができました。本当にありがとうございました。ちょっと千代田中部小学校の2学期を、学校目標に沿って振り返ります。

【遅い子】

ちょっとした交通事故が1件ありましたが、擦過傷程度の怪我でした。その子もヘルメットを着用していました。ヘルメット着用は習慣化してきておりますが、100%になっていないのが残念です。学校での生活においても、救急車を呼ぶような事故、怪我、病気もありませんでした。2学期の終了間際になって、インフルエンザが流行し、1学級だけ学級閉鎖となってしまいましたが、どうかおさまたことに安堵しております。全般的に、健康で安心・安全な生活をしようと子どもたちも心がけてくれていました。また、不登校児童もいません。体育大会の頃、多少、学校に行き渋る子が見受けられましたが、ご家庭のご協力のおかげで、長期化することもなく、みんな元気に学校生活を送ることができました。

【賢い子】

全国・佐賀県学力状況調査では、ほぼ佐賀県の平均学力を維持することができています。子どもたちの授業の様子をみると、ほとんどの子が集中してがんばっています。話の聞き方が上手になったことを感じています。

学力状況調査の中で、千代田中部小学校の子どもは、「土日の学習時間が短い」「書くことが苦手」という傾向が見られましたので、「校長先生からの宿題日記」を、土日の宿題として出し始めました。ルールは「字の大きさは問わないが最後の行まで書く。」です。始めた頃は最後の行までいかない子もいましたが、ご家庭のご協力も有り、最後の行まで書くことはもちろん、表現を工夫しておもしろく書こうという意識が生まれはじめています。ある子が、「作文書くことが嫌じゃなくなった。」と担任に話してくれたことを聞き、大変うれしくなりました。

課題は「読書」です。なかなか読書量が増えず、今学期はどちらかというと減少傾向でした。読書は知識量を増やすためにも、情緒の安定のためにも大切だと考えています。3学期は、読書習慣の習得のために手立てを打っていきたく思っております。ご協力よろしくをお願いします。

【共に生きる子】

相変わらず登校の様子は素晴らしく、朝、押しボタン信号のところ立っている私に見える範囲では、一列に並び、大きな声で挨拶して登校します。最近は止まってくれた車への礼も上手です。登校後も、運動場を走ったり、草むしりをしたり、畑の水やりをしたり、6年生は校内清掃と、自分で決めた活動をしっかり行っています。

大きないじめ事案はありませんでしたが、「悪口を言われる」「仲間はずれにされる」などの不満を持った子どももおります。全員の笑顔のために、早期発見・早期対応に全教職員で取り組んできました。障がい者の方を馬鹿にするような気になる発言もありましたので、学年集会を開き、「人としての価値とは何か」、「言葉の重み」などについて話をしたところでした。

「自分に自信があり、心にゆとりのある子は、人に嫌なことをする必要がなくなる。」と信じています。「ほめほめ活動」を通じて、全校221人全員の自己肯定感、自己有用感を高め、いじめや差別のない千代田中部小学校にする、これが一番の目標です。これまで、全員を4回(221×4)以上、全校の前で褒めることができました。子どもたちが、自分を信じて、歩み続ける人になってくれることを願っています。